

第 3 8 1 回 難 研 セ ミ ナ ー

下記により難研セミナーを開催しますので、多数御来聴下さい。

記

日 時： 2007 年 2 月 2 日（金） 18:00 ～ 20:00

場 所： 難治疾患研究所〔湯島地区〕6 階セミナー室

演 者： 蒔田 芳男 先生

（旭川医科大学 小児科学教室）

演 題： CGH アレイ導入が臨床奇形学領域に与えた影響

要 旨： 私たちは、東京医科歯科大学難治研（稲澤研究室）が開発した Genome

Disorder Array (GDA) と Whole Genome Array (WGA) の臨床奇形学領域での
応用を平成 15 年度からの 3 施設のパイロットスタディとして開始した。

2 年間の経験からアレイ CGH が submicroscopic な異常の検出の強力な
ツールであり、特にサブテロメア領域の異常の検出に威力を発揮すること
が判明した。そこで、平成 17 年度から全国 14 施設の共同研究を開始し、
現在までに 150 例の MCA/MR 患児の GDA による解析を終了している。本取
り組みの途中経過で見出されてきた新たな奇形疾患概念を解説し、さらに
GDA の臨床診断法実用化の進捗状況を報告する。

連絡先： 難治疾患研究所分子細胞遺伝・稲澤譲治（内線 5820）